

学校教育目標・「やさかの心」

【経営の理念】

「利他の心をもつ学校」

めざす教師像 だれも置き去りにしない教師

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

「誰も置き去りにしない教師」を合言葉とする学校づくりと協働の学びを軸とした授業の実践を通して、他者と結びつく力を高め、自ら価値を創造していきける生徒を育成する。

利他の心＝生徒も教師も「人によかれ」という心をもち学校生活を送り、周囲の協力も得て視野を広げ、正しい判断力を身につけていく

《 教育課題と重点 》

めざす子ども像

「やさかの心」で深める子どもの具体の姿

「や」⇒柔らかい心（友の声を聴く心）

「さ」⇒さがし求める心（聴き合い考えぬく心）

「か」⇒かわいがる心 他者と関り自分のよさを感じる子ども（自己有用感）

「聴き合う力」を高める指導と評価

（重点１・聴く力と質問力の育成）

- ・少人数を生かしたペア学習・グループ学習
- ・一人ひとりの学習カルテをもち、教科横断的に活用し「聴き合い」から学ぶ授業

（重点２・小中連携での付ける力の明確化）

- ・自己有用感の高揚(キャリアパスポート)
- ・八坂型プライドの構築と協働の授業づくり
- ・付ける力の関連性、9ヶ年を見通した教育課程
- ・他者との関わりの質と表現力を高める小中の連携

《 教育システム 》

- 八坂コミュニティ・スクールの運営
- 体験活動がより充実し身につくような、教科・行事等の関連性を持たせた取り組み
- キャリアパスポートの作成(小学校からの9年間を通して)
- 山村留学センターとの連携
- 山間地小規模校・特認校制度の活用
- インクルーシブ教育の充実
- 保護者および支援関係機関との連絡を密にした不登校不適応対策
- 教職員集団の資質の向上と変容（子どもと向き合う時間の確保に向けた働き方改革、研究・研修への参加、報告、実践への取り組み）新しい教育課程への対応とICTの活用
- 武蔵野五中との交流による、表現力の育成